

福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会 介護保険事業計画部会

第1回 議事次第

日 時 令和8年6月23日（火）18：00～
場 所 TKP エルガーラホール7階 多目的ホール

1 開 会

2 議 事

- (1) 部会長、副部会長の選出について
- (2) 介護保険事業計画部会の審議事項について 資料1
- (3) 福岡市の介護保険制度の現状について 資料2
- (4) 被保険者数、要介護認定者数の推計について 資料3、4
- (5) 日常生活圏域について 資料5
- (6) 介護サービス基盤の整備量について 資料6

3 閉 会

○介護保険事業計画部会委員

	氏 名	役職等	備 考
1	岩城 和代	弁護士	○
2	袈裟丸 政憲	福岡市介護保険事業者協議会	○
3	田中 康雄	西南学院大学教授	○
4	香月 真	Roren主宰	◇
5	上坂 美紀代	ケアプランセンターうさぎ管理者/ケアマネジャー 福岡市ユマニチュード地域リーダー	◇
6	宮川 伸吾	特定非営利活動法人なごみの家 理事長	◇

○ 高齢者専門分科会常任委員

◇ 高齢者専門分科会臨時委員

(根拠法令等)

○福岡市保健福祉審議会条例施行規則（抜粋）

- 第3条 専門分科会長が必要と認めるときは、専門分科会に部会を置くことができる。
- 2 部会の委員は、専門分科会に属する委員及び臨時委員のうちから専門分科会長が指名する。
 - 3 部会に部会長及び副部会長を置き、部会の委員の互選によってこれを定める。
 - 4 部会長は、部会の会務を総理する。
 - 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

第10期介護保険事業計画について

1 概要

介護保険事業計画は、介護保険法第117条に基づく計画であり、国の介護保険事業に係る基本指針、福岡市保健福祉総合計画の基本理念等を踏まえ策定することとしている。

計画策定にあたっては、「介護保険事業計画部会（以下、部会）」にて介護保険サービスの利用量や施設等の整備量等について協議を行った後、「高齢者保健福祉専門分科会（以下、分科会）」にて審議する。

第10期介護保険事業計画（以下、第10期計画）の計画期間は、令和9年度から11年度までの3年間。

2 第10期計画目次の構成案

第1章 計画の策定にあたって

部会にて審議

計画策定の趣旨、計画期間、介護保険制度の主な改正内容 など

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

保健福祉総合計画との整合性を図るため分科会にて審議

数値から見た福岡市の現状、高齢者実態調査に基づく現状、高齢者を取り巻く課題

第3章 施策の方向性

保健福祉総合計画との整合性を図るため分科会にて審議

施策の方向性と展開、具体的な取組みと目標

第4章 サービス量の見込み等

部会にて審議

人口と要介護認定者数の推計、日常生活圏域、介護サービス量と地域支援事業量の実績と見込 など

第5章 介護保険事業に係る費用の見込みと第1号被保険者保険料

第1章～第4章の審議内容を踏まえ算定

介護保険事業計画部会（全3回を予定）

の審議事項について

◆ 第1回介護保険事業計画部会（6/23）

- 被保険者数の推計・・・・・・・・・・資料3
- 要介護認定者数の推計・・・・・・・・・・資料4
- 日常生活圏域について・・・・・・・・・・資料5
- 介護サービス基盤の整備量について・・・・・・・・資料6

◆ 第2回介護保険事業計画部会（7/15を予定）

- 介護サービス必要見込量（予定）

◆ 第3回介護保険事業計画部会（8/31を予定）

- 地域支援事業（予定）
- 市町村特別給付等（予定）

福岡市の介護保険制度の現状

これまでの25年間の対象者、利用者の増加

- 介護保険制度は、制度創設（2000年、平成12年）から25年あまりが経過しました。
この間、第1号被保険者数（65歳以上）が約2倍に増加する一方、
要介護認定者・サービス利用者数は約4倍に増加し、
高齢者の生活を支えるため無くてはならないものとして定着しています。

① 第1号（65歳以上）被保険者の増加

	平成12年度		令和7年度	
第1号被保険者数	174,421人	⇒	361,381人	2.1倍

② 要介護認定者の増加

	平成12年度		令和7年度	
要介護認定者数	20,235人	⇒	75,890人	3.8倍

③ サービス利用者の増加

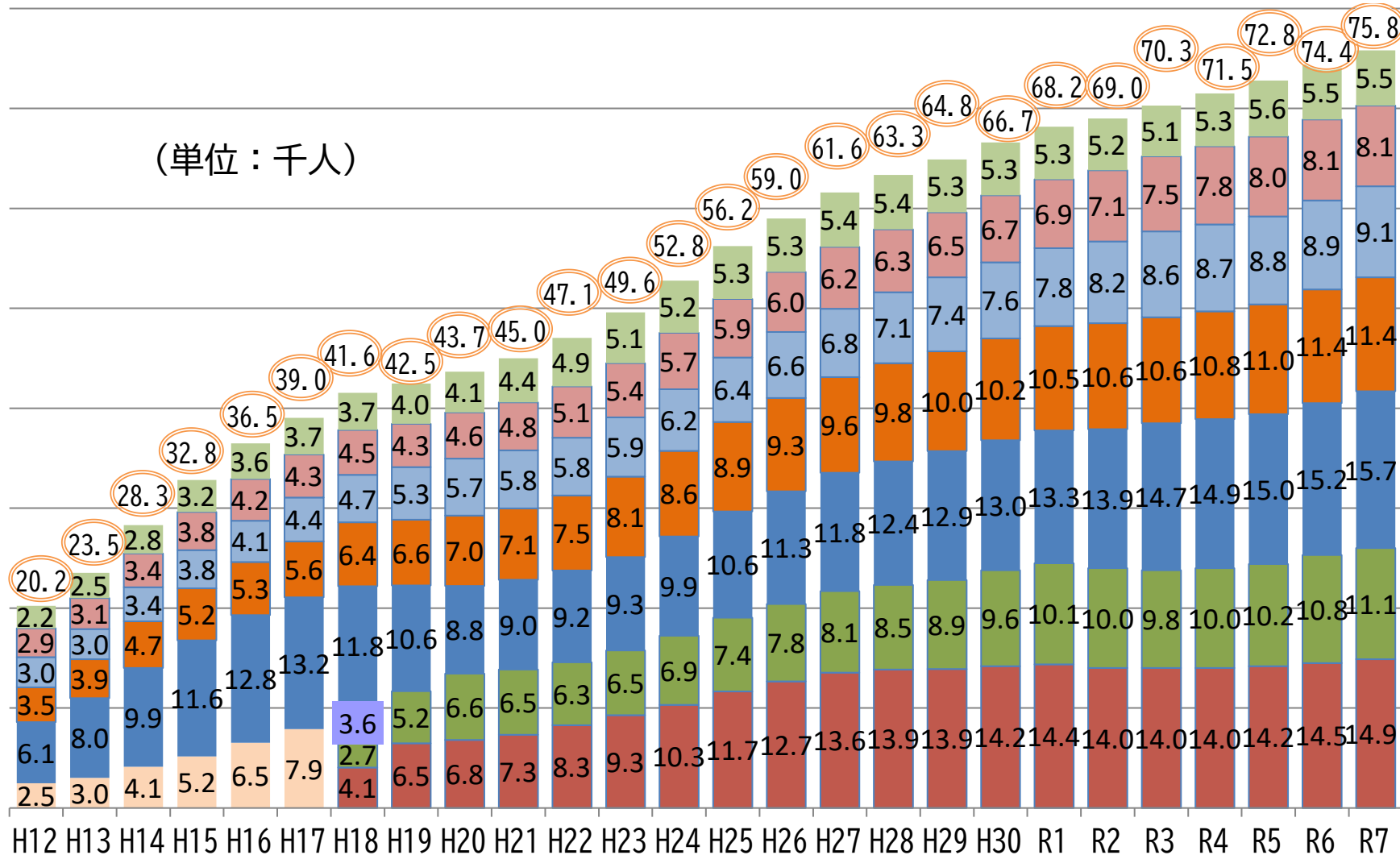
	平成12年度		令和7年度	
サービス利用者数	15,644人	⇒	56,830人	3.6倍

※値はいずれも年度平均。

要介護度別認定者数の推移

○ 制度創設以降、要介護認定者数は増加し続けていますが、
このうち軽度の認定者数の増が特に大きくなっています。

(単位：千人)



H12→R7の比較

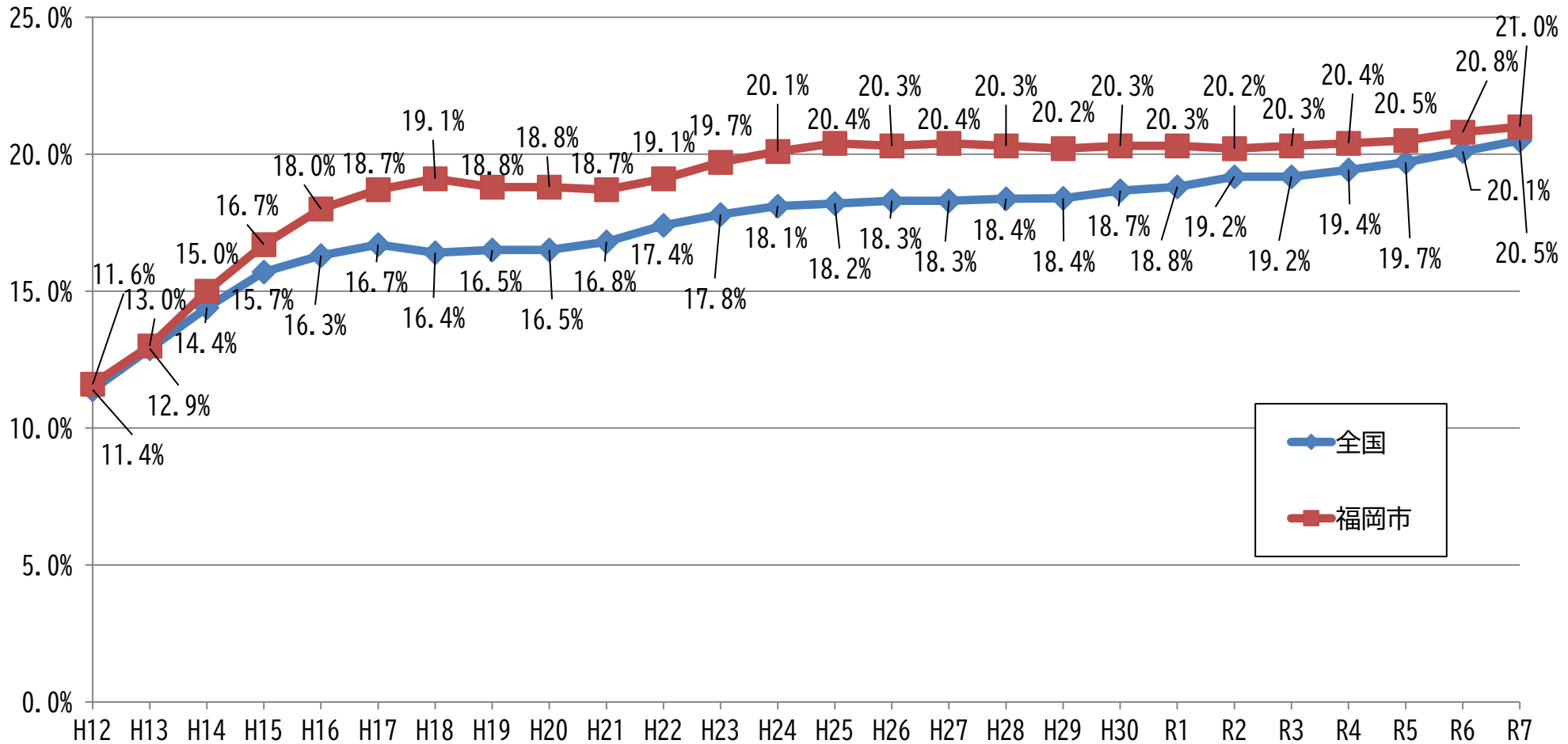
計		3.75倍
要介護	5	2.5倍
	4	2.79倍
	3	3.03倍
	2	3.26倍
経過的要介護		4.85倍
要支援	1	
	2	
要支援	1	

※値は年度平均。

要支援 要支援1 要支援2 経過 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

要介護認定率の推移

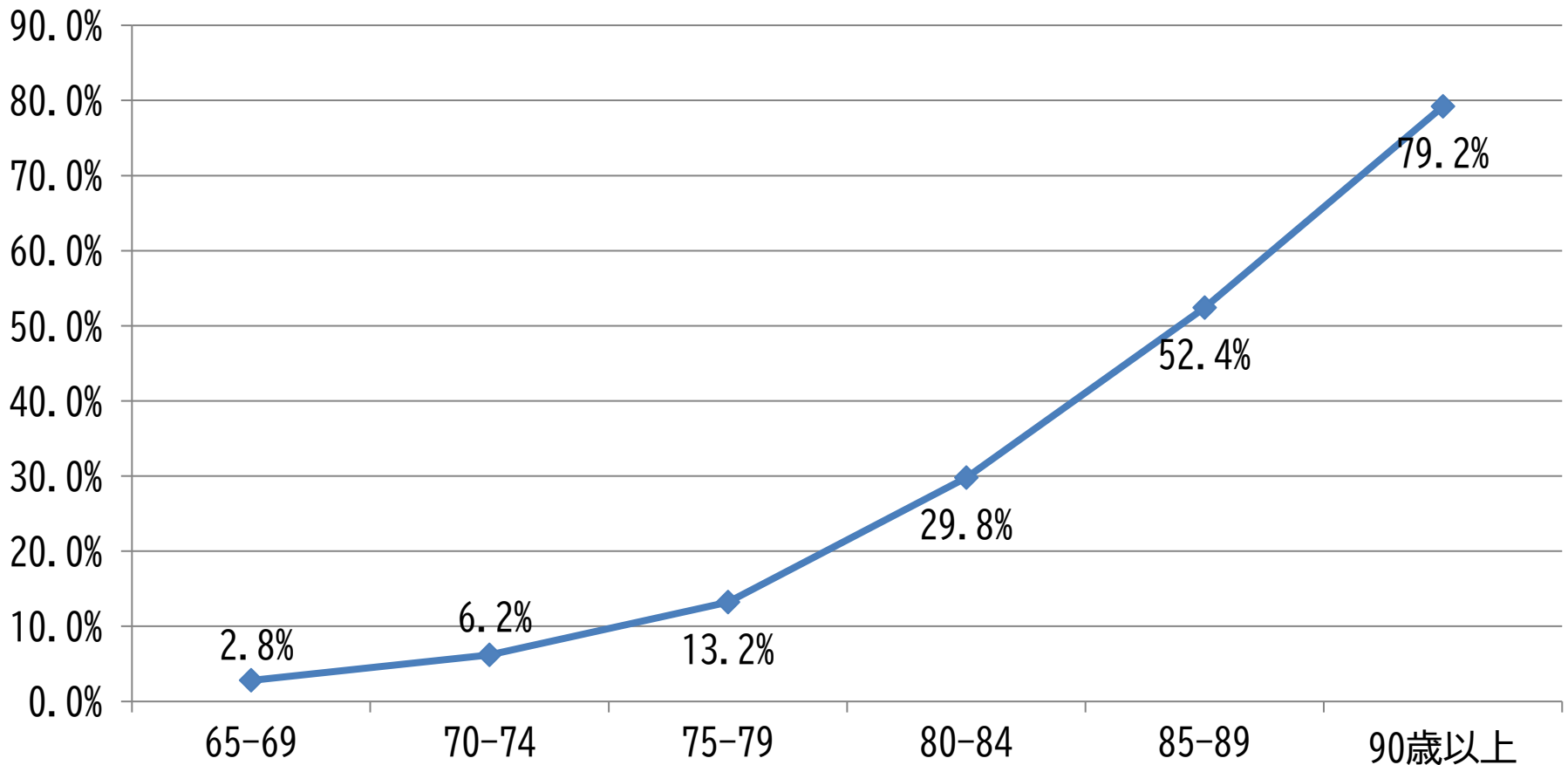
○ 福岡市の要介護認定率は、制度創設時の平成12年度以来、**全国に比べ高い水準**にありましたが、近年は横ばいで推移しており、令和7年度は21.0%と、**全国との差が0.5ポイントまで縮まっています**。



※福岡市の値は年度平均。全国の値は「介護保険事業状況報告（年報又は月報）」より福岡市で算出。要介護認定者数には第2号被保険者を含む。

年齢階級別の要介護認定率の推移

- 福岡市の要介護認定率を年齢階級別に見ると、
65歳から69歳までの層では、ほとんどの方が自立しておられるのに対し、
後期高齢者になる75歳から79歳までの層になると、約8人に1人が認定を受けています。
さらに80歳から84歳までの層では約3人に1人が、
85歳から89歳までの層になると半数以上が認定を受けています。



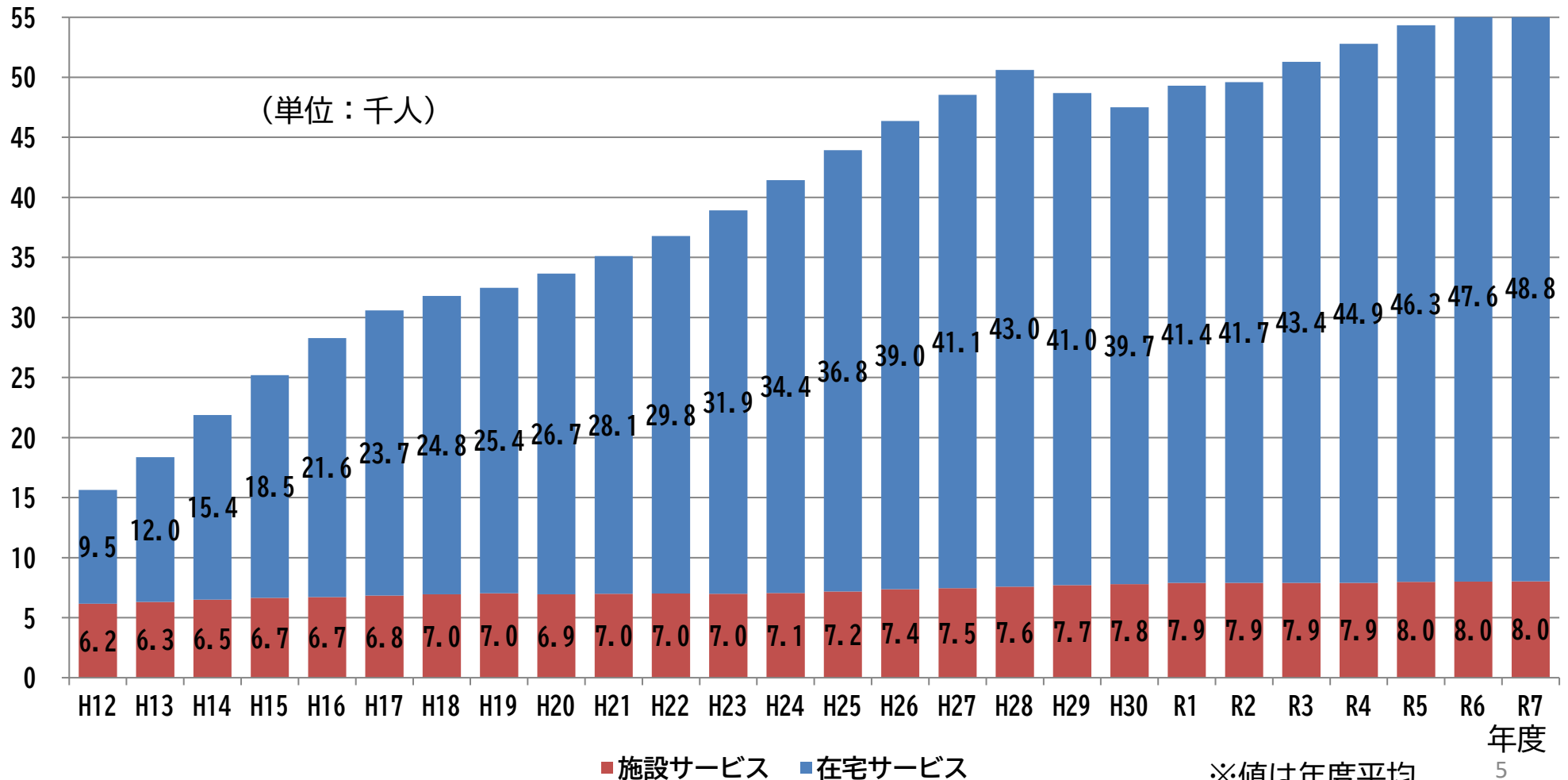
※令和8年3月末時点

サービス利用者数の推移

○ この25年間で、福岡市のサービス利用者数は平成12年度の3.6倍となりました。
そのうち、施設サービスの利用者数は1.3倍となっている一方で、

在宅サービスの利用者数の増加が大きく、約5倍となっています。

※なお、H29に総合事業が開始されたため、介護サービスの利用者数としてはいったん減少しています。



※値は年度平均。

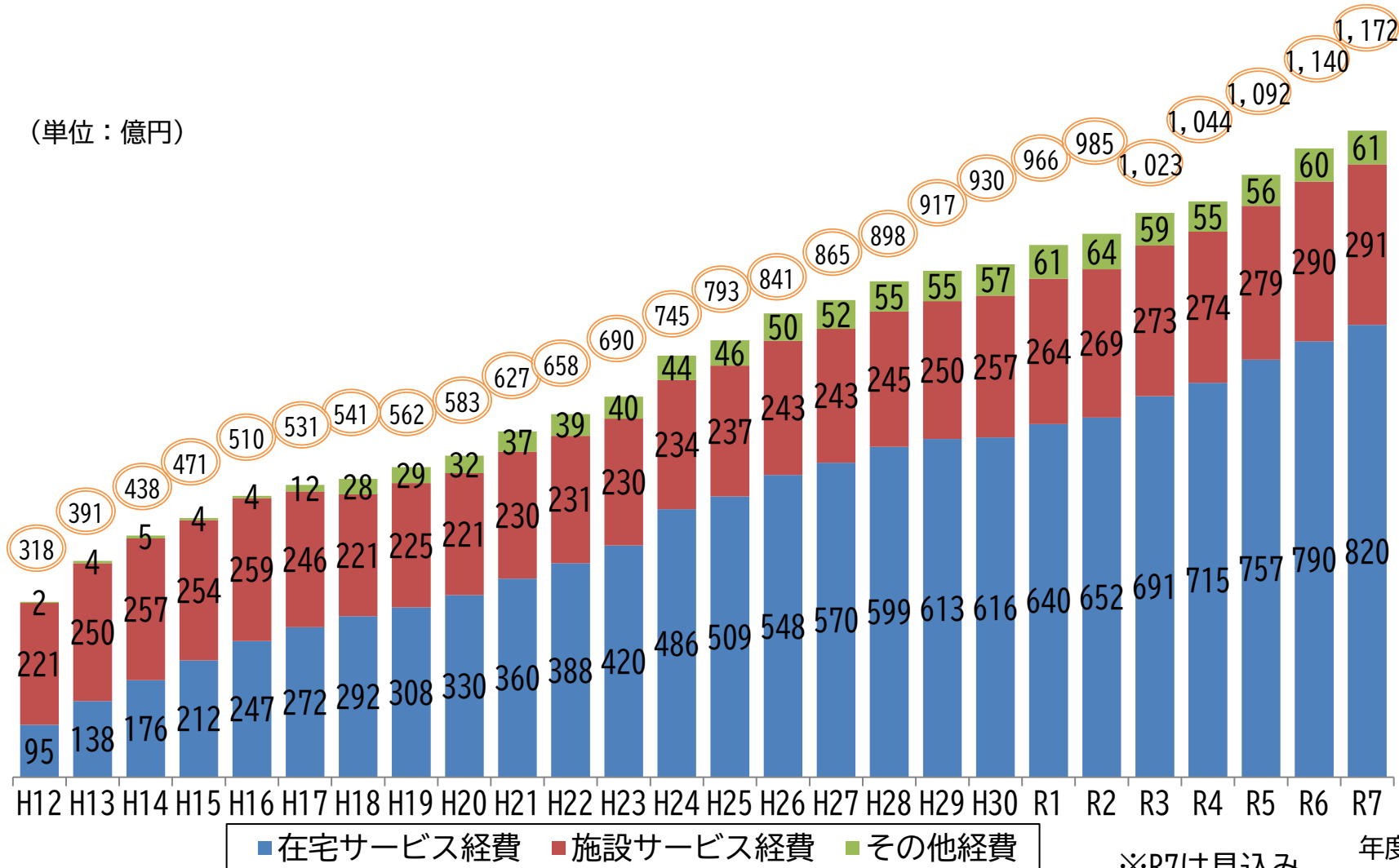
介護給付費の推移

○令和7年度の介護給付費は約1,172億円となる見込みで、この25年間で約3.7倍になりました。このうち、**在宅サービス費の増加が大きく、約8.6倍**となっています。

※なお、平成18年度に特定入所者介護サービス費（施設入所時の食費・居住費の軽減制度）が創設されたことに伴い、その他経費の伸びが大きくなっています。

H12→R7の比較

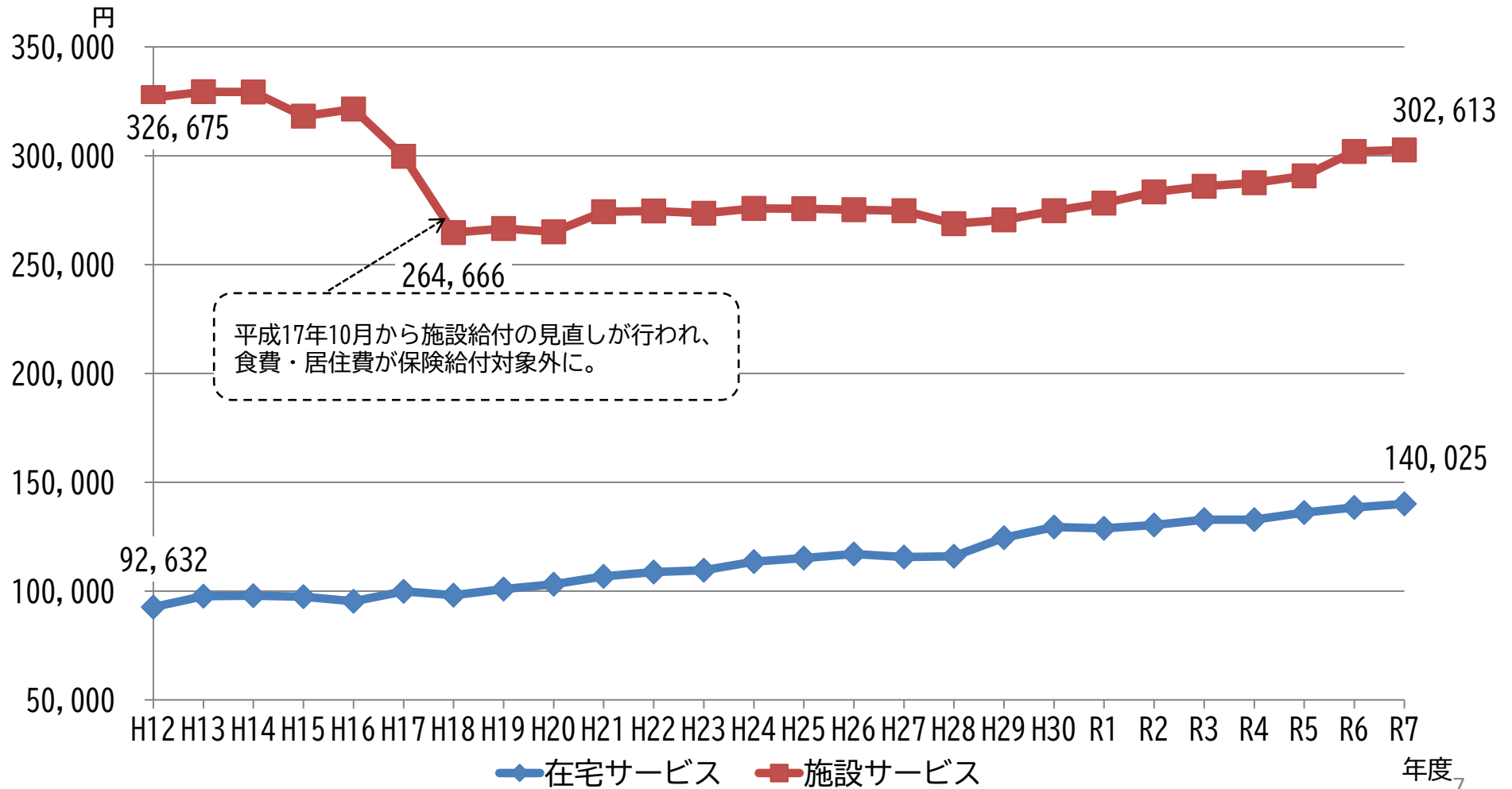
(単位：億円)



計	3.7倍
その他経費	30.5倍
施設サービス費	1.3倍
在宅サービス費	8.6倍

1人当たりの介護給付費（月額）

- 施設サービス利用者1人あたりの介護給付費は、近年は増加しており、令和7年度は約30万3千円の見込みとなっています。
- また、在宅サービス利用者1人あたりの介護給付費は、年々増加し、令和7年度は約14万円の見込みとなっています。



第10期福岡市介護保険事業計画における 高齢者数の推計

1 被保険者数の推計

(1) 福岡市の過去5年間の高齢者数の推移

○ 福岡市の高齢化率は全国と比較して低い水準にあるものの、65歳以上人口は増加の一途をたどっています。また、令和5年度には、75歳以上の後期高齢者数が65歳～74歳の前期高齢者数を上回っています。

(単位：人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総人口…A	1,568,381	1,580,205	1,591,367	1,605,533	1,619,432
65歳以上人口…B	347,095	350,475	354,199	358,359	361,406
65～74歳（前期）	180,912	176,302	171,490	166,210	162,641
（対前年比）	-	97.5%	97.3%	96.9%	97.9%
75歳以上（後期）	166,183	174,173	182,709	192,149	198,765
（対前年比）	-	104.8%	104.9%	105.2%	103.4%
85歳以上	56,554	58,648	59,660	60,763	62,322
（対前年比）	-	103.7%	101.7%	101.8%	102.6%
高齢化率…B/A	22.1%	22.2%	22.3%	22.3%	22.3%
40～64歳人口	529,074	535,501	541,856	546,996	551,971

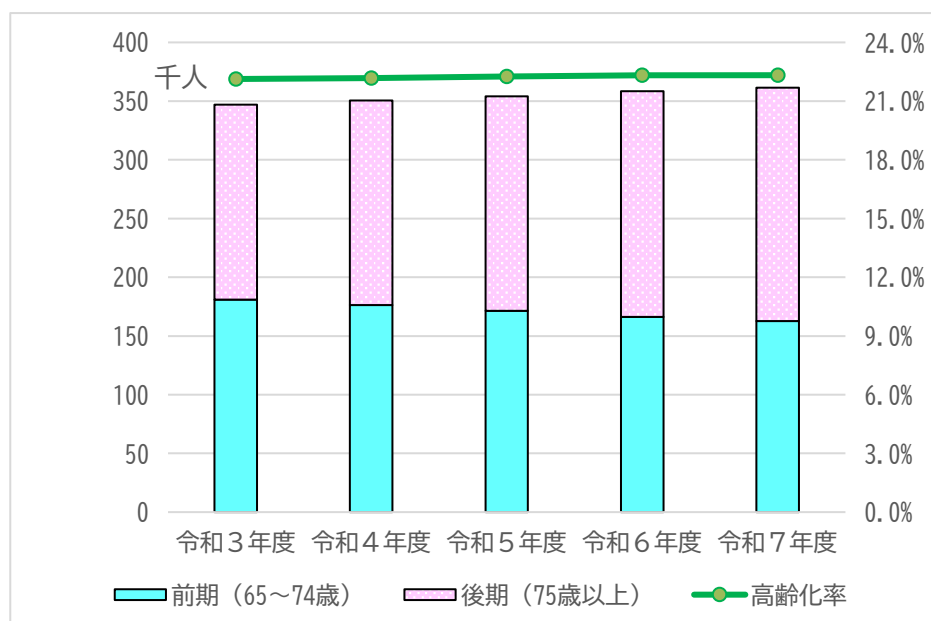
(参考)

全国の高齢化率	28.9%	29.0%	29.1%	29.3%	29.4%
---------	-------	-------	-------	-------	-------

※各年度9月末現在

※人口＝住民基本台帳に基づく人口

※全国の高齢化率は各年度10月1日現在(出典：高齢社会白書及び総務省人口推計)



(2) 第10期介護保険事業計画期間における人口の推計方法（案）

○ 第9期介護保険事業計画では、令和5年9月末現在の「住民基本台帳に基づく人口」と「外国人登録人口」との和をもとに、コーホート要因法（*）により、推計を行いました。

○ この推計値と実績を比較すると、下表のとおり乖離が生じていることから、**第10期計画では第9期計画の推計人口をもとに、令和6年度、7年度の計画値と実績値の差異を考慮して推計を行います。**

第9期事業計画値と実績の比較

（単位：人）

区分	R6年度				R7年度			
	計画値 ①	実績 ②	乖離 ③ (②-①)	乖離率 ③/①	計画値 ①	実績 ②	乖離 ③ (②-①)	乖離率 ③/①
総人口…A	1,601,800	1,605,533	3,733	0.2%	1,609,000	1,619,432	10,432	0.6%
65歳以上人口…B	361,800	358,359	-3,441	-1.0%	366,200	361,406	-4,794	-1.3%
うち前期（65～74歳）	167,400	166,210	-1,190	-0.7%	163,700	162,641	-1,059	-0.6%
うち後期（75歳以上）	194,400	192,149	-2,251	-1.2%	202,500	198,765	-3,735	-1.8%
高齢化率（B/A）	22.6%	22.3%	-0.3%	-1.2%	22.8%	22.3%	-0.5%	-2.1%
40～64歳人口	546,900	546,996	96	0.0%	551,400	551,971	571	0.1%

※各年度9月末現在

～コーホート要因法について～ （コーホート：同時出生集団）

コーホート要因法とは、「同年又は同期間に出生した集団」についての人口変化を推計する方法です。

例えば、ある地域の20～24歳の人口は、5年後には25～29歳の集団となりますが、この5年間の人口変化は、“死亡数”と“移動数”（地域の人口の流入）によって生じます。この死亡数と移動数を仮定することで、将来の人口推計を行うものです。

コーホート要因法では、自然増減（出生数及び死亡数）と社会的増減（移動数）を分離して推計を行うため、他の人口推計方法と比較して、より精緻な推計が可能となっています。なお、推計に用いる生存率、社会移動率については、「福岡市基本構想・第10次福岡市基本計画」の策定に用いた「福岡市の将来人口推計」を用いています。

(3) 第10期介護保険事業計画期間における人口推計(案)

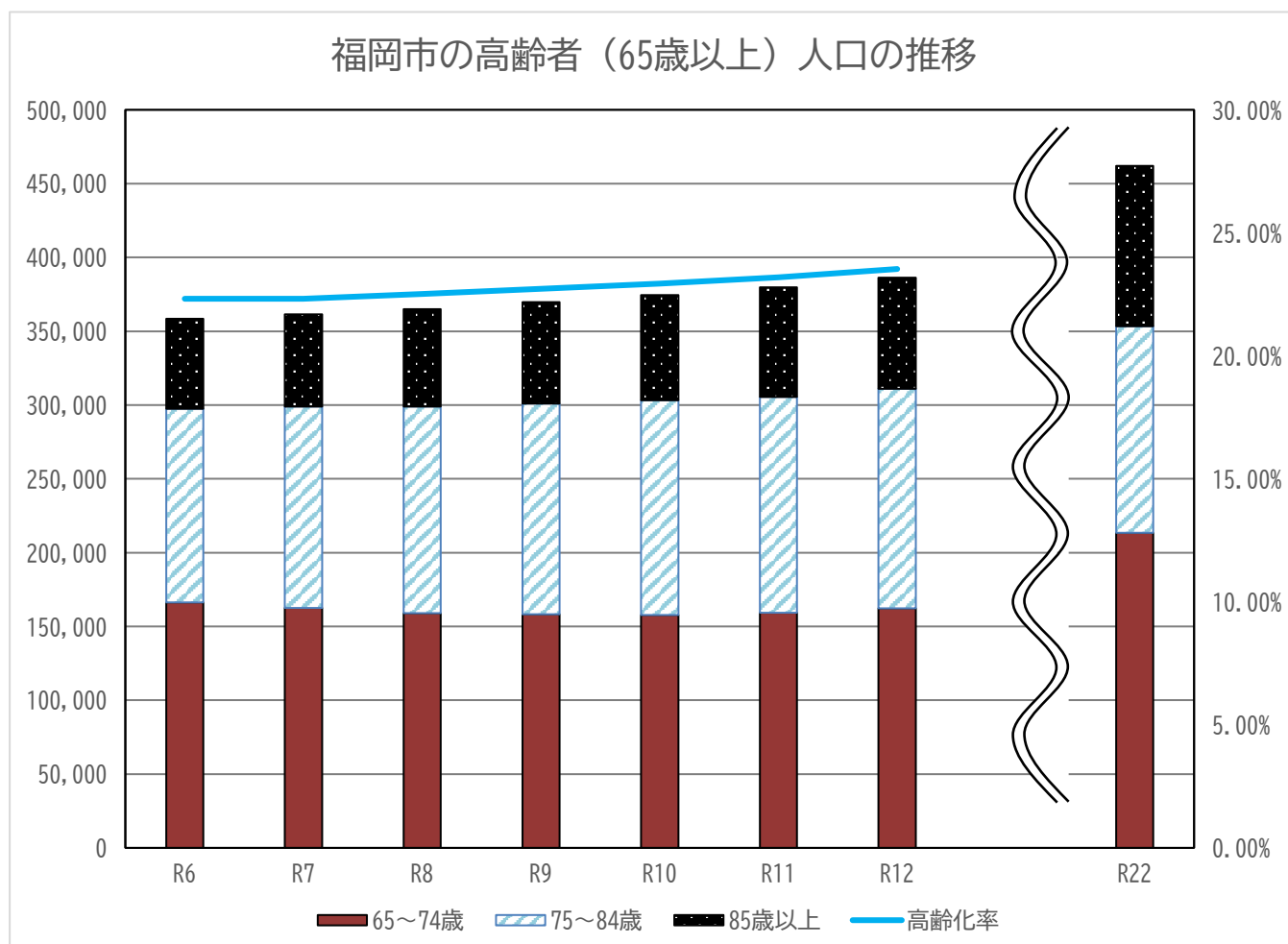
○ (2) の推計方法(案)により推計した結果は以下のとおりです。
第10期介護保険事業計画ではこの数値を基に各種推計を行います。

(単位：人)

区分	2027年度(令和9年度)			2028年度(令和10年度)			2029年度(令和11年度)		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
総人口	771,300	855,700	1,627,000	774,100	858,200	1,632,300	776,500	860,600	1,637,100
0～39歳	345,500	353,100	698,600	345,200	352,200	697,400	345,100	351,200	696,300
40～64歳	270,900	287,700	558,600	271,800	288,600	560,400	272,000	289,100	561,100
65～69歳	38,500	42,400	80,900	38,900	43,000	81,900	39,500	43,600	83,100
70～74歳	35,700	41,700	77,400	35,100	40,700	75,800	35,200	40,900	76,100
75～79歳	37,900	48,700	86,600	36,900	47,100	84,000	34,800	44,200	79,000
80～84歳	22,300	33,700	56,000	24,800	36,700	61,500	27,400	39,900	67,300
85～89歳	13,300	26,000	39,300	14,000	26,900	40,900	14,800	28,200	43,000
90歳以上	7,200	22,400	29,600	7,400	23,000	30,400	7,700	23,500	31,200
65歳以上人口	154,900	214,900	369,800	157,100	217,400	374,500	159,400	220,300	379,700
高齢化率	20.1%	25.1%	22.7%	20.3%	25.3%	22.9%	20.5%	25.6%	23.2%

区分	2030年度(令和12年度)		
	男	女	男女計
総人口	778,700	862,700	1,641,400
0～39歳	344,800	349,900	694,700
40～64歳	271,500	288,900	560,400
65～69歳	40,900	45,300	86,200
70～74歳	35,300	40,800	76,100
75～79歳	33,600	42,500	76,100
80～84歳	29,700	43,000	72,700
85～89歳	14,700	27,900	42,600
90歳以上	8,200	24,400	32,600
65歳以上人口	162,400	223,900	386,300
高齢化率	20.9%	26.0%	23.5%

区分	2040年度(令和22年度)		
	男	女	男女計
総人口	789,100	871,100	1,660,200
0～39歳	331,000	326,100	657,100
40～64歳	260,700	280,300	541,000
65～69歳	56,100	61,700	117,800
70～74歳	44,500	51,200	95,700
75～79歳	34,400	42,600	77,000
80～84歳	26,400	36,500	62,900
85～89歳	20,600	34,100	54,700
90歳以上	15,400	38,600	54,000
65歳以上人口	197,400	264,700	462,100
高齢化率	25.0%	30.4%	27.8%

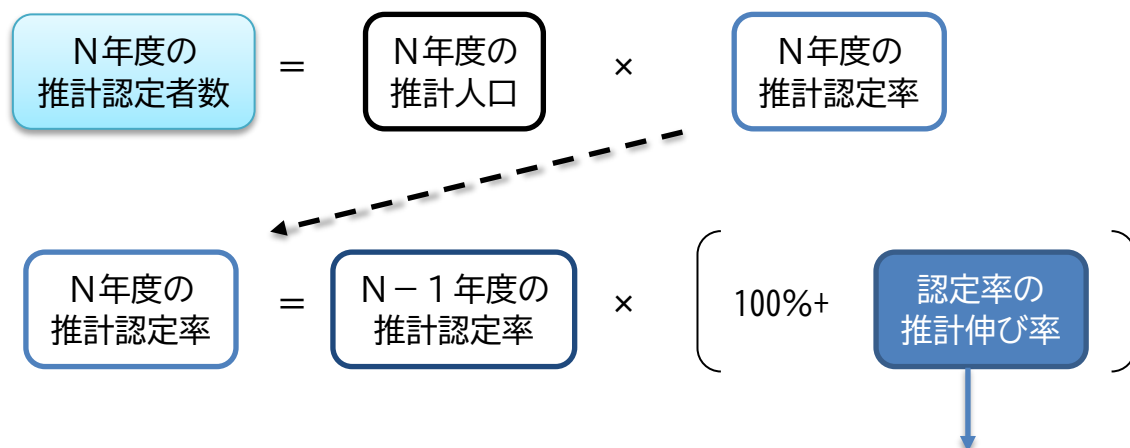


第10期福岡市介護保険事業計画における 要介護認定者数の推計

(1) 第9期介護保険事業計画における推計方法

○ 第9期介護保険事業計画では、直近5か年の認定率の伸び率を基に各年度の認定率を算出し、これに推計人口を乗じることによって、認定者数を算出しました。これによる認定者数の事業計画値と実績の比較は下表のとおりです。

○ 要支援者と要介護者で傾向が異なっており、要支援者の実績値は計画値を上回り、要介護者の実績値は計画値を下回っております。



直近5か年の認定率の伸び率（平成30年9月から令和5年9月の5か年の伸び率）を基に算定

(2) 第9期介護保険事業計画の事業計画値と実績の比較

(単位：人)

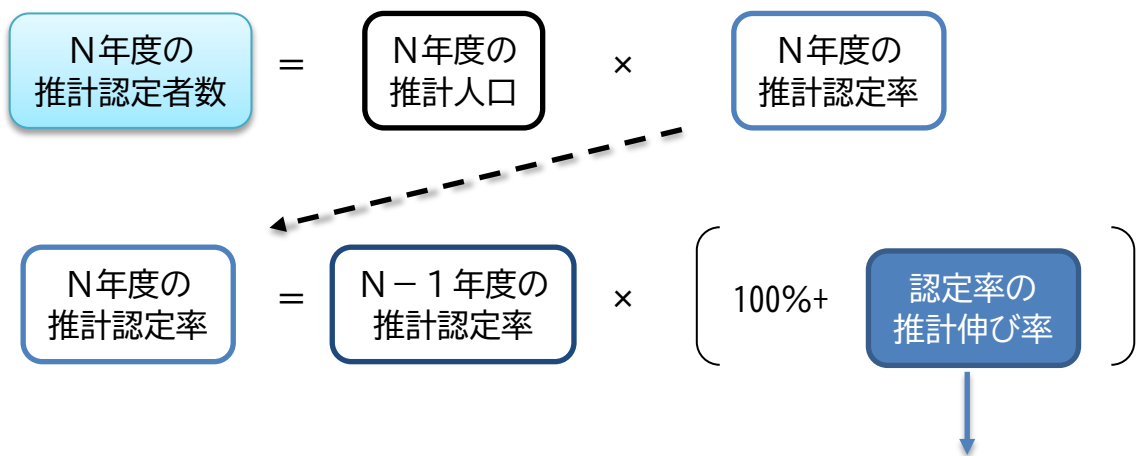
要介護度	R6年度				R7年度			
	計画値 A	実績値 B	乖離 C(B-A)	乖離率 C/A	計画値 A'	実績値 B'	乖離 C'(B'-A')	乖離率 C'/A'
要支援1	14,490	14,469	-21	-0.1%	14,550	14,875	325	2.2%
要支援2	10,760	10,793	33	0.3%	11,060	11,079	19	0.2%
要介護1	15,470	15,250	-220	-1.4%	15,820	15,721	-99	-0.6%
要介護2	11,330	11,352	22	0.2%	11,460	11,498	38	0.3%
要介護3	9,110	8,922	-188	-2.1%	9,350	9,122	-228	-2.4%
要介護4	8,370	8,055	-315	-3.8%	8,640	8,109	-531	-6.1%
要介護5	5,960	5,503	-457	-7.7%	6,200	5,542	-658	-10.6%
合計	75,490	74,344	-1,146	-1.5%	77,080	75,946	-1,134	-1.5%

※ 9月末時点。

(3) 第10期介護保険事業計画における要介護認定者数の推計方法（案）

○ 第9期計画では、直近5か年の認定率を基に認定者数を見込みましたが、実績と比較すると、マイナス1.5%の乖離が見られました。これは、被保険者数の実績値と推計値に差異があったこと、**介護予防・重度化防止の取組みなど**による認定率の減少数の差異によるものと考えます。

○ 第10期計画では、直近2か年の認定率の伸び率に各年度の推計人口を乗じて算出します。



直近2か年の認定率の伸び率（令和5年9月から令和7年9月の2か年の伸び率）を基に算定

- ア 認定者の伸びを考慮する方法として、9月時点の認定率（性別・年齢階層別・要介護度別）を基準にして令和5年から令和7年の認定率の平均伸び率を基に算出（P3参照）
- イ 認定者数を算出する前年度の認定率に、アの伸び率を乗じて当該年度の推計認定率を算出。
- ウ 認定者数を算出する年度の推計人口に当該年度の推計認定率を乗じて推計認定者数を算出。

(4) 第10期計画における認定者数の見込み(案)

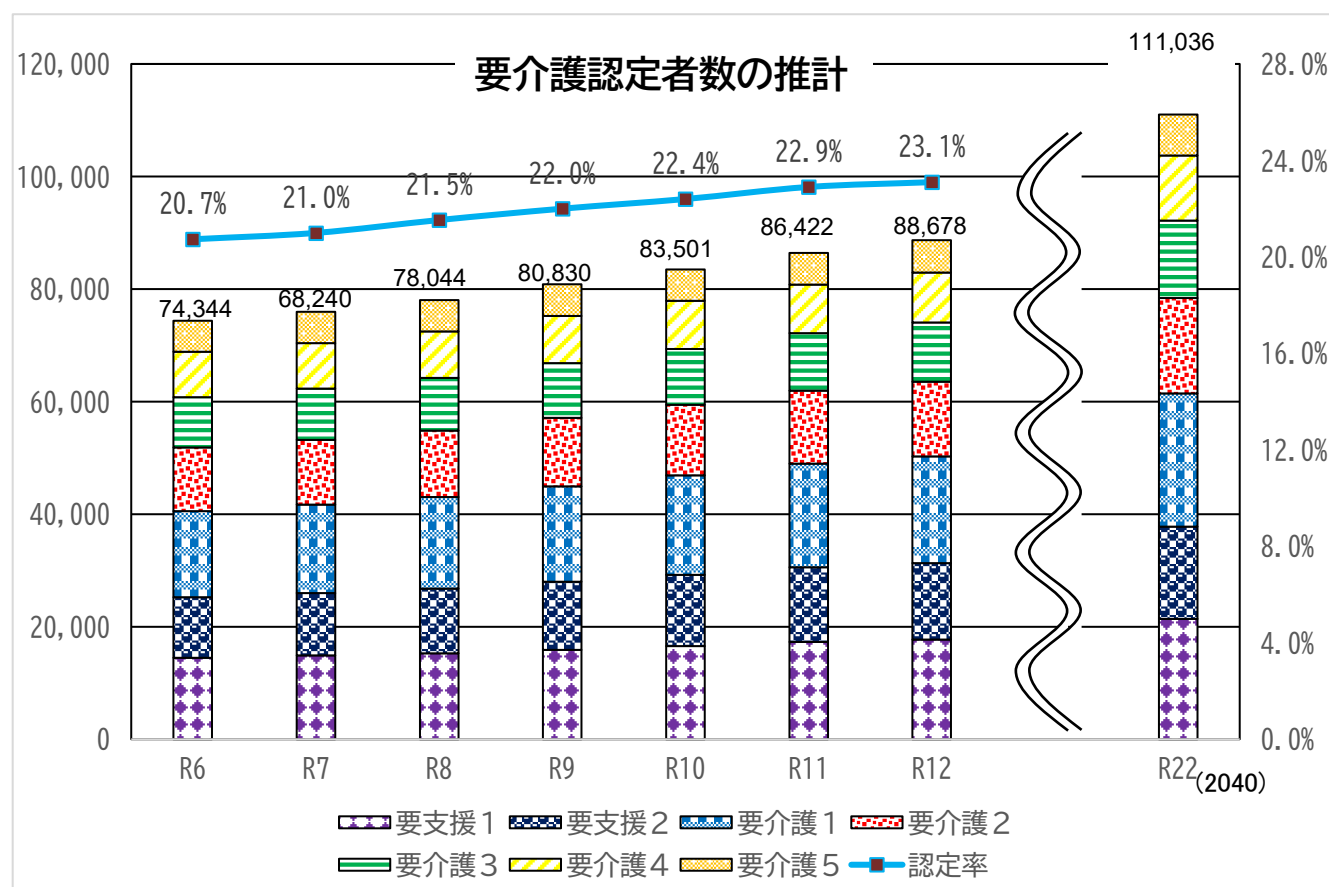
(3) により推計した要介護認定者数は以下のとおりです。

第10期介護保険事業計画ではこの認定者数をもとに、各種推計等を行っていきます。

	実績 R6年度	実績 R7年度	見込 R8年度
要支援1	14,469	14,875	15,280
要支援2	10,793	11,079	11,524
要介護1	15,250	15,721	16,237
要介護2	11,352	11,498	11,808
要介護3	8,922	9,122	9,389
要介護4	8,055	8,109	8,243
要介護5	5,503	5,542	5,563
合計	74,344	75,946	78,044
認定率	20.7%	21.0%	21.5%

第10期介護保険事業計画期間			
	R9年度	R10年度	R11年度
要支援1	15,901	16,557	17,291
要支援2	12,088	12,658	13,265
要介護1	16,947	17,659	18,451
要介護2	12,195	12,545	12,925
要介護3	9,699	9,963	10,242
要介護4	8,400	8,509	8,625
要介護5	5,600	5,610	5,623
合計	80,830	83,501	86,422
認定率	22.0%	22.4%	22.9%

2030年 R12年度			2040年 R22年度	
要支援1	17,708		21,373	
要支援2	13,567		16,417	
要介護1	18,986		23,674	
要介護2	13,274		16,923	
要介護3	10,524		13,765	
要介護4	8,860		11,569	
要介護5	5,759		7,315	
合計	88,678		111,036	
認定率	23.1%		24.1%	



《参考》男女別・年齢層別の認定率の比較（令和5年／令和7年）

※認定率…（男女別・年齢層別の）人口に対する認定者数

令和5年9月時点の男女別・年齢層別認定者数、要介護度別認定率 (人)

性別	区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	40-64歳	83	115	90	135	72	66	78	639
	65-69歳	235	208	232	240	170	136	111	1,332
	70-74歳	538	445	581	510	305	292	239	2,910
	75-79歳	725	519	850	625	487	368	258	3,832
	80-84歳	1,047	696	1,098	723	545	452	301	4,862
	85-89歳	1,003	672	1,185	801	587	483	274	5,005
	90歳以上	658	450	850	675	527	442	212	3,814
	合 計	4,289	3,105	4,886	3,709	2,693	2,239	1,473	22,394
女性	40-64歳	80	104	89	96	62	69	66	566
	65-69歳	222	202	171	143	87	92	98	1,015
	70-74歳	775	626	496	398	253	261	215	3,024
	75-79歳	1,549	1,029	1,065	715	519	457	368	5,702
	80-84歳	2,863	1,778	2,211	1,354	1,018	806	640	10,670
	85-89歳	2,929	2,018	3,003	2,052	1,605	1,432	996	14,035
	90歳以上	1,499	1,473	3,034	2,635	2,565	2,689	1,761	15,656
	合 計	9,917	7,230	10,069	7,393	6,109	5,806	4,144	50,668
合 計		14,206	10,335	14,955	11,102	8,802	8,045	5,617	73,062
認定率		4.01%	2.92%	4.22%	3.13%	2.49%	2.27%	1.59%	20.63%

令和7年9月時点の男女別・年齢層別認定者数、要介護度別認定率

性別	区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	40-64歳	87	122	85	158	79	65	79	675
	65-69歳	226	221	219	226	154	139	128	1,313
	70-74歳	521	402	460	473	292	255	210	2,613
	75-79歳	841	667	952	769	546	445	282	4,502
	80-84歳	1,038	689	1,180	770	534	471	287	4,969
	85-89歳	1,060	681	1,181	817	566	424	267	4,996
	90歳以上	762	504	972	783	594	489	218	4,322
	合 計	4,535	3,286	5,049	3,996	2,765	2,288	1,471	23,390
女性	40-64歳	54	126	69	97	66	47	68	527
	65-69歳	205	225	165	141	110	79	78	1,003
	70-74歳	646	565	442	359	207	240	182	2,641
	75-79歳	1,653	1,193	1,173	773	596	521	440	6,349
	80-84歳	2,885	1,871	2,394	1,408	1,061	832	648	11,099
	85-89歳	3,122	2,115	3,072	1,950	1,561	1,391	946	14,157
	90歳以上	1,775	1,698	3,357	2,774	2,756	2,711	1,709	16,780
	合 計	10,340	7,793	10,672	7,502	6,357	5,821	4,071	52,556
合 計		14,875	11,079	15,721	11,498	9,122	8,109	5,542	75,946
認定率		4.12%	3.07%	4.35%	3.18%	2.52%	2.24%	1.53%	21.01%

令和5年と令和7年の差

性別	区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	40-64歳	4	7	-5	23	7	-1	1	36
	65-69歳	-9	13	-13	-14	-16	3	17	-19
	70-74歳	-17	-43	-121	-37	-13	-37	-29	-297
	75-79歳	116	148	102	144	59	77	24	670
	80-84歳	-9	-7	82	47	-11	19	-14	107
	85-89歳	57	9	-4	16	-21	-59	-7	-9
	90歳以上	104	54	122	108	67	47	6	508
	合 計	246	181	163	287	72	49	-2	996
女性	40-64歳	-26	22	-20	1	4	-22	2	-39
	65-69歳	-17	23	-6	-2	23	-13	-20	-12
	70-74歳	-129	-61	-54	-39	-46	-21	-33	-383
	75-79歳	104	164	108	58	77	64	72	647
	80-84歳	22	93	183	54	43	26	8	429
	85-89歳	193	97	69	-102	-44	-41	-50	122
	90歳以上	276	225	323	139	191	22	-52	1,124
	合 計	423	563	603	109	248	15	-73	1,888
合 計		669	744	766	396	320	64	-75	2,884
認定率		0.11	0.15	0.13	0.05	0.03	-0.03	-0.06	0.38

要介護認定率については、要支援1～要介護1で上昇率が高く、全体としても上昇傾向が見られます。

日常生活圏域について

1. 日常生活圏域とは（国の考え方）

市町村は、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、各市町村の高齢化のピーク時までには目指すべき地域包括ケアシステムを構築する区域を念頭において、例えば中学校区単位等、地域の実情に応じた日常生活圏域を定めること。

なお、日常生活圏域の設定については、自治会や町内会など既存コミュニティの活動にも配慮して定めることが重要である。

※介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針
(H30.10.12・厚労省告示第357号) より抜粋

2. 現行計画における日常生活圏域の設定

中学校区単位を基本としつつ、地域包括支援センターの圏域を考慮しながら、59圏域を設定しています。

3. 次期計画における日常生活圏域の設定

令和8年4月より西第8圏域内に中学校が新設されていますが、当該圏域においては、高齢者数や認定率に大きな変化がないこと等を踏まえ、第10期計画においても、第9期の日常生活圏域の設定を引き継ぎます。

4. 日常生活圏域別の状況

別添資料5-2「日常生活圏域別 高齢者数等の状況、及び地域密着型サービス整備状況」、別添資料5-3「特別養護老人ホーム整備状況（日常生活圏域別）」を参照ください。

■日常生活圏域別 高齢者数等の状況、及び地域密着型サービス整備状況

資料5-2

※総人口～認定率は令和7年9月末時点（住所地特例者を除く）

※整備状況は令和8年4月1日現在（整備予定地含む）

…上位5項目
…下位5項目

圏域	中学校区	(総人口)	(高齢者数)	(うち後期高齢者数)	(うち85歳以上人口)	高齢化率	(認定者数)	認定率	定巡	小多機	看多機	認知症GH		地域密着型特定施設	
									事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	定員	事業所数	定員
東第1-1	志賀	7,501	2,478	1,425	449	33.0%	546	22.0%	1	-	-	1	9	-	-
東第1-2	和白	30,053	7,768	4,355	1,271	25.8%	1,577	20.3%	1	1	-	4	62	-	-
東第2	和白丘	29,176	7,959	4,840	1,559	27.3%	1,632	20.5%	-	1	-	3	54	-	-
東第3	香椎第2	33,130	7,102	3,791	1,181	21.4%	1,401	19.7%	-	1	1	2	36	-	-
東第4	香椎第1	28,024	5,388	2,638	795	19.2%	979	18.2%	1	1	1	1	18	-	-
東第5	多々良	20,438	5,192	2,963	1,009	25.4%	1,114	21.5%	-	-	-	2	36	-	-
東第6	青葉・多々良中央	33,125	8,742	4,899	1,612	26.4%	1,830	20.9%	-	2	-	6	72	-	-
東第7	松崎	17,177	3,864	2,160	736	22.5%	959	24.8%	1	1	-	3	63	-	-
東第8	箱崎・福岡	38,879	7,474	3,947	1,164	19.2%	1,619	21.7%	1	1	1	2	36	-	-
東第9	香椎第3	28,982	6,938	3,856	1,107	23.9%	1,338	19.3%	1	1	-	1	18	-	-
東第10	城香・照葉	29,121	5,509	3,077	972	18.9%	1,280	23.2%	-	-	-	2	36	-	-
東第11	箱崎清松	38,466	5,946	2,883	853	15.5%	1,161	19.5%	1	-	-	3	63	1	29
東区計		334,072	74,360	40,834	12,708	22.3%	15,436	20.8%	7	9	3	30	503	1	29
博多第1	千代・博多	37,792	5,874	3,302	1,091	15.5%	1,433	24.4%	1	1	-	2	36	-	-
博多第2	東光	23,134	3,228	1,694	451	14.0%	651	20.2%	1	-	-	-	-	-	-
博多第3	東住吉・住吉	47,771	6,144	3,231	969	12.9%	1,321	21.5%	1	-	-	1	27	-	-
博多第4	席田	23,780	6,248	3,794	1,385	26.3%	1,607	25.7%	1	1	-	4	81	-	-
博多第5	板付	24,583	5,771	3,119	919	23.5%	1,171	20.3%	1	1	-	2	27	-	-
博多第6	那珂	36,955	6,222	3,254	857	16.8%	1,299	20.9%	-	1	-	2	27	-	-
博多第7	三筑	28,289	6,413	3,265	972	22.7%	1,155	18.0%	1	-	-	-	-	-	-
博多第8	吉塚	26,515	4,064	2,168	609	15.3%	882	21.7%	1	1	-	2	36	-	-
博多区計		248,819	43,964	23,827	7,253	17.7%	9,519	21.7%	7	5	-	13	234	-	-
中央第1	当仁	40,252	9,433	5,120	1,585	23.4%	1,815	19.2%	1	-	1	2	36	-	-
中央第2	舞鶴	26,248	4,375	2,355	748	16.7%	837	19.1%	-	-	-	1	9	-	-
中央第3	警固・高宮・春吉	62,771	9,936	5,316	1,633	15.8%	1,858	18.7%	1	1	-	2	36	-	-
中央第4	友泉・城西	31,411	7,257	3,776	1,254	23.1%	1,386	19.1%	-	1	-	3	45	-	-
中央第5	平尾	41,398	8,100	4,343	1,427	19.6%	1,558	19.2%	-	1	-	1	27	-	-
中央区計		202,080	39,101	20,910	6,647	19.3%	7,454	19.1%	2	3	1	9	153	-	-
南第1	春吉	34,034	5,765	2,864	836	16.9%	1,122	19.5%	1	-	-	2	27	-	-
南第2	長丘	23,108	6,695	3,860	1,215	29.0%	1,420	21.2%	-	1	-	2	24	-	-
南第3	三宅	31,174	7,038	3,758	1,167	22.6%	1,493	21.2%	1	2	-	3	54	-	-
南第4	横手・宮竹	41,815	8,175	4,226	1,305	19.6%	1,658	20.3%	1	2	-	3	54	-	-
南第5	臼佐	14,583	4,219	2,580	783	28.9%	983	23.3%	-	2	1	3	54	-	-
南第6	老司	15,884	4,808	2,856	886	30.3%	1,083	22.5%	-	2	-	2	36	-	-
南第7	柏原	18,191	5,377	2,963	930	29.6%	1,095	20.4%	-	1	1	5	54	-	-
南第8	野間	21,369	4,944	2,661	904	23.1%	1,048	21.2%	1	-	-	3	54	-	-
南第9	高宮	31,575	5,433	2,981	929	17.2%	1,060	19.5%	-	1	-	2	27	-	-
南第10	筑紫丘	18,328	4,423	2,525	852	24.1%	941	21.3%	-	-	-	2	45	-	-
南第11	花畑	21,909	6,438	3,829	1,221	29.4%	1,484	23.1%	-	1	-	3	30	-	-
南区計		271,970	63,315	35,103	11,028	23.3%	13,387	21.1%	4	12	2	30	459	-	-

圏 域	中学校区	(人) 総人口	(人) 高齢者数	(人) うち後期高 齢者数	(人) うち後期高 齢者数	高齢化率	(人) 認定者数	認定率	定巡	小多機	看多機	認知症 GH		地域密着型 特定施設	
									事業 所数	事業 所数	事業 所数	事業 所数	定員	事業 所数	定員
城南第1	城南・城西	42,313	9,566	5,146	1,642	22.6%	1,905	19.9%	2	2	-	3	45	-	-
城南第2	梅林	21,475	5,599	3,246	1,028	26.1%	1,246	22.3%	-	2	-	1	18	-	-
城南第3	片江	23,023	5,613	3,082	993	24.4%	1,269	22.6%	1	-	1	2	18	-	-
城南第4	長尾	17,477	5,770	3,301	1,004	33.0%	1,281	22.2%	-	-	-	2	27	-	-
城南第5	友泉・城南	23,689	6,359	3,436	1,096	26.8%	1,370	21.5%	1	1	-	1	18	-	-
城南区 計		127,977	32,907	18,211	5,763	25.7%	7,071	21.5%	4	5	1	9	126	-	-
早良第1	高取	30,127	5,682	2,734	903	18.9%	1,061	18.7%	-	1	-	1	18	-	-
早良第2	原中央・原北	37,566	8,643	4,510	1,392	23.0%	1,657	19.2%	-	2	-	3	36	-	-
早良第3	西福岡	16,288	4,640	2,655	780	28.5%	990	21.3%	-	-	-	2	36	-	-
早良第4	次郎丸	21,882	5,861	3,400	1,032	26.8%	1,265	21.6%	1	1	-	4	99	-	-
早良第5	原	23,233	6,208	3,474	1,140	26.7%	1,319	21.2%	-	1	-	2	36	-	-
早良第6	金武	15,396	5,130	2,955	866	33.3%	1,146	22.3%	2	2	1	2	36	-	-
早良第7	早良	12,061	4,361	2,594	762	36.2%	982	22.5%	-	1	-	1	18	-	-
早良第8	百道	35,984	7,193	3,425	1,162	20.0%	1,210	16.8%	-	-	-	2	44	-	-
早良第9	田隈	31,735	8,296	4,924	1,504	26.1%	1,902	22.9%	-	-	-	5	81	-	-
早良区 計		224,272	56,014	30,671	9,541	25.0%	11,532	20.6%	3	8	1	22	404	-	-
西第1	姪浜・能古・小呂	31,506	7,567	3,955	1,229	24.0%	1,431	18.9%	1	-	-	2	36	-	-
西第2	内浜・玄界	40,993	8,148	4,280	1,403	19.9%	1,766	21.7%	1	3	-	4	45	-	-
西第3	西陵	12,556	4,446	2,713	812	35.4%	1,052	23.7%	1	-	-	1	18	-	-
西第4	壱岐丘	16,716	5,025	3,213	1,073	30.1%	1,179	23.5%	-	1	-	2	36	1	29
西第5-1	玄洋	26,127	5,762	3,189	1,031	22.1%	1,129	19.6%	1	-	1	2	36	-	-
西第5-2	玄洋・北崎	5,323	2,048	1,262	472	38.5%	537	26.2%	-	1	-	3	45	-	-
西第6	下山門	20,534	5,480	3,063	981	26.7%	1,253	22.9%	-	-	1	2	45	-	-
西第7	壱岐	18,648	6,168	3,619	1,070	33.1%	1,277	20.7%	1	1	1	2	27	-	-
西第8	元岡	37,874	6,798	3,712	1,202	17.9%	1,370	20.2%	1	-	1	3	36	-	-
西区 計		210,277	51,442	29,006	9,273	24.5%	10,994	21.4%	6	6	4	21	324	1	29
合 計		1,619,467	361,103	198,562	62,213	22.3%	75,393	20.9%	33	48	12	134	2,203	2	58

※整備予定地含む

圏域番号	小学校区	施設数	定 員		特別養護老人ホーム 未整備圏域
東第1－1	勝馬・志賀島・西戸崎	1		80	
		西戸崎創生園	80		
東第1－2	奈多・三苦・和白	1		330	
		奈多創生園	330		
東第2	美和台・和白東	0		0	未整備圏域
東第3	香住丘・香椎	1		86	
		さんすまいる唐原	86		
東第4	香陵・千早・千早西	1		29	
		フレンドピーチ千早	29		
東第5	舞松原・若宮	1		50	
		聖家族の家 若宮	50		
東第6	青葉・八田・多々良	4		286	
		光薫寺ビハーラ	110		
		なごみの里	74		
		いきいき八田	73		
		つくしの里	29		
東第7	名島	1		100	
		シエル名島	100		
東第8	箱崎・東箱崎・馬出	1		29	
		いきいき箱崎	29		
東第9	香椎下原・香椎東	1		100	
		すこやか	100		
東第10	照葉・照葉北・照葉はばたき 香椎浜・城浜	2		129	
		アイランドシティ照葉	100		
		照葉	29		
東第11	松島・筥松	1		50	
		サンシャイン	50		
博多第1	千代・博多	2		150	
		博多さくら園	50		
		アットホーム福岡	100		
博多第2	東光・堅粕	1		48	
		マザーハート	48		
博多第3	東住吉・春住・住吉	1		100	
		シティケア博多	100		
博多第4	席田・月隈・東月隈	3		279	
		洸寿園	100		
		月隈愛心の丘	80		
		アットホーム博多の森	99		
博多第5	板付北・板付	4		218	
		りんごの家	29		
		アットホーム諸岡	80		
		アットホーム板付	29		
		（仮称）篤志館 ※R9.2月開設予定	80		
博多第6	那珂・弥生・宮竹	1		70	
		ケアイン博多	70		
博多第7	三筑・那珂南	2		120	
		薔薇の樹苑	70		
		りんごの丘	50		
博多第8	東吉塚・吉塚	0		0	未整備圏域
中央第1	当仁・福浜・南当仁	1		50	
		はなみずき園	50		
中央第2	舞鶴	1		70	
		ライフケア大手門	70		
中央第3	高宮・春吉・赤坂・警固	1		90	
		煌奏館	90		
中央第4	笹丘・草ヶ江・鳥飼	1		75	
		梅光園	75		
中央第5	平尾・小笹	1		29	
		おざさ	29		
南第1	玉川・塩原	1		100	
		おおはし徳巣	100		
南第2	長丘・長住・西長住	2		110	
		シティケア長住	50		
		鹿助荘	60		
南第3	三宅・野多目	2		160	
		花の季苑	70		
		ウイステリア福岡	90		
南第4	宮竹・高木・横手・臼佐	2		130	
		回生園	50		
		回生園貳番館	80		
南第5	弥永・弥永西	1		100	
		ムーンシャドウ	100		
南第6	老司・鶴田	1		30	
		松月園	30		
南第7	花畑・柏原	4		298	
		花畑ホーム	110		
		第2花畑ホーム	80		
		ライフケア柏原	72		
		恵	36		
南第8	若久・大池	1		29	
		グッドライフ野間	29		
南第9	西高宮・大楠	1		80	
		市崎の杜	80		
南第10	筑紫丘・東若久	1		63	
		光の丘	63		
南第11	東花畑・西花畑	1		29	
		藤ヶ丘荘	29		

圏域番号	小学校区	施設数	定 員		特別養護老人ホーム 未整備圏域
城南第 1	城南・別府・鳥飼	3		156	
		飛鳥	50		
		白熊園	80		
		よりあいの森	26		
城南第 2	七隈・金山	1		80	
		城南の杜	80		
城南第 3	片江・南片江	1		100	
		油山緑寿園	100		
城南第 4	堤・堤丘・西長住	2		79	
		油山福祉の里	50		
		陽だまり	29		
城南第 5	田島・長尾	1		80	
		ケアタウン茶山	80		
早良第 1	高取・室見	1		100	
		高取	100		
早良第 2	原・大原・小田部・原北	1		81	
		けやき	81		
早良第 3	有住・原西	1		100	
		ラ・ポール有田	100		
早良第 4	有田・賀茂	1		54	
		次郎丸の里	54		
早良第 5	飯原・飯倉中央・飯倉	3		145	
		たちばな	46		
		まきの木	29		
		サンシャインセンター	70		
早良第 6	四箇田・入部	2		145	
		ライフケアしかた	80		
		香楠荘	65		
早良第 7	早良・内野・脇山	2		170	
		恵風苑	100		
		さわらふれあいの里	70		
早良第 8	百道浜・西新・百道	1		50	
		あおぞら	50		
早良第 9	田隈・田村・野芥	1		100	
		サンシャインプラザ	100		
西第 1	愛宕・愛宕浜・姪北・能古・小呂	1		80	
		能古清和園	80		
西第 2	内浜・姪浜・福重・玄界	3		178	
		マイネスハウス福重	29		
		ディグニティ内浜	100		
		初花	49		
西第 3	西陵・城原	0		0	未整備圏域
西第 4	壱岐南・金武	5		303	
		愛信園	100		
		マナハウス	69		
		サンガーデン	29		
		あおい	76		
		かあむ茜月	29		
西第 5－1	今宿・玄洋	2		141	
		松生園	70		
		七樹苑	71		
西第 5－2	今津・北崎	3		208	
		大寿園	150		
		今津創生園	29		
		海の花	29		
西第 6	石丸・下山門	1		100	
		下山門	100		
西第 7	壱岐・壱岐東	3		212	
		リハモール福岡	72		
		ウェストヒル創生園	60		
		なの国	80		
西第 8	周船寺・元岡・西都・西都北	4		209	
		歴史の里	50		
		寿生苑	80		
		美の里	29		
		いと楽し	50		
計		94		6,568	

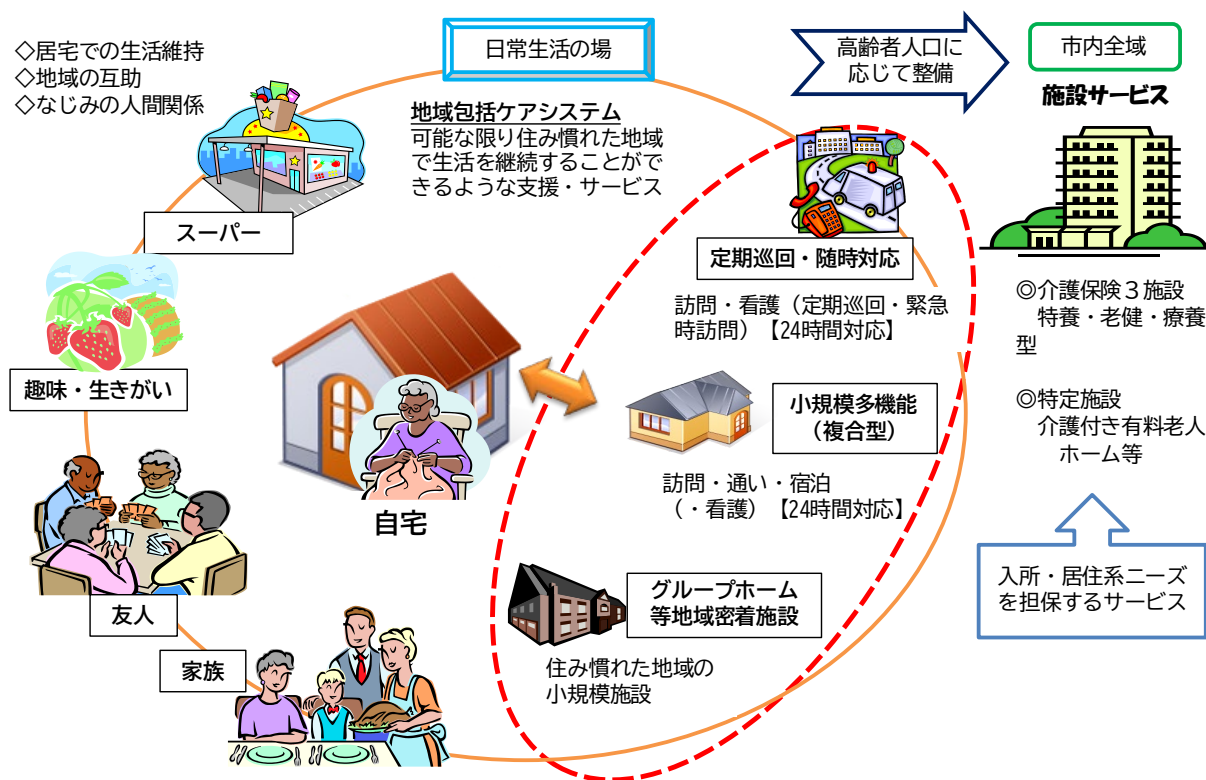
介護サービス基盤整備について

1. 介護サービス基盤整備に係る視点

福岡市では、介護サービスについて、地域包括ケアシステムを推進していくとともに、市民のニーズに適切に対応していくため、将来の高齢者数の動向等も踏まえた中・長期的な視点から、次の3つの基本方針を定めています。

- ① 長期的に大規模施設から在宅生活を支えるサービスへシフト
- ② 住み慣れた地域で住み替えができる小規模施設の拡充
- ③ 入所・居住系ニーズを担保する施設サービスの一定量の確保

【参考 地域包括ケアシステムのイメージ】



2. 第9期計画期間中の介護サービス基盤整備実施状況

(1) 第9期介護保険事業計画における整備方針

第9期では、中・長期的な視点に基づいた次の整備方針により介護サービス基盤を整備しました。

① 在宅生活を支えるサービスの拡充

② 住み慣れた地域で住み替えができる小規模施設の拡充

③ 入所・居住系ニーズを担保する施設サービスの整備

(2) 第9期介護保険事業計画の整備目標と実績

① 小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護

区分	R6	R7	R8
整備目標量（事業所数）	75		
整備実績（事業所数）	60	60	62
小多機	48	48	49
看多機	12	12	13

② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

区分	R6	R7	R8
整備目標量（事業所数）	44		
整備実績（事業所数）	31	33	35

③ 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

区分	R6	R7	R8
整備目標量（人分）	2,535		
整備実績（人分）	2,203	2,185	2,284

④ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

区分	R6	R7	R8
整備目標量（人分）	6,581		
整備実績（人分）	6,481	6,481	6,568

⑤ 介護老人保健施設

区分	R6	R7	R8
整備目標量（人分）	2,606		
整備実績（人分）	2,606	2,606	2,606

⑥ 介護医療院

区分	R6	R7	R8
整備目標量（人分）	710		
整備実績（人分）	710	710	710

⑦ 特定施設入居者生活介護（地域密着型特定施設入居者生活介護）

区分	R6	R7	R8
整備目標量（人分）	4,404		
整備実績（人分）	4,299	4,299	4,284

3. 第10期計画策定における国の考え方

- (1) 令和6年度～令和8年度の介護給付等の実績を踏まえつつ、地域の中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉え、第10期計画における施設サービス、居住系サービス、地域密着型サービスをバランスよく組み合わせて、介護サービス基盤を計画的に確保していく必要がある
- (2) 医療・介護双方のニーズを有する高齢者のサービス需要や在宅医療の整備状況を踏まえ、医療・介護の連携を強化し、医療及び介護の効率的かつ効果的な提供を図ることも重要
- (3) 居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスについて、引き続き、地域の実情に応じて普及を検討し、整備に取り組むことが重要

4. 介護サービス基盤整備の第10期計画の方向性

(1) 福岡市の現状と課題

- 福岡市では、今後も高齢者人口は増加し、介護サービスに対するニーズも増加することが見込まれます。
- 地域包括ケアを推進するため、今後増大することが予測される医療ニーズを併せ持つ中重度の要介護者や認知症高齢者への対応として、24時間365日の在宅生活を支援するサービスは重要であり、引き続き整備促進を図る必要があります。
- 入所・居住系サービスについては、住宅型有料老人ホームに入居する要介護者の急増に伴い、既存施設の入所率が低下しているため、新規整備は一定程度にとどめます。

(2) 第10期介護保険事業計画における整備方針

① 在宅生活を支えるサービスの確保

- 中重度となっても、本人の様態や希望に応じて、「通い」「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせて、「自宅で継続して生活するために」必要な支援を、切れ目なく24時間365日行うサービスである「小規模多機能型居宅介護」及び医療ニーズの高い人を支えるためのサービスである「看護小規模多機能型居宅介護」について、整備を進めます。
- 重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、24時間365日、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスである「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について、整備を進めます。

② 認知症の人が住み慣れた地域で安心して生活できるサービスの確保

- 高齢化の進展に伴い増加する認知症高齢者を支えるため、少人数で共同生活をする居住系サービスである「認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）」について、整備を進めます。

③ ニーズを担保するサービス量の整備

- 「小規模多機能型居宅介護」及び「看護小規模多機能型居宅介護」は、概ね中学校単位で設定している「日常生活圏域」に1事業所以上となるよう、整備を進めます。
- 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は、代替サービス（訪問介護、訪問看護、（看護）小規模多機能型居宅介護等）が充足しているため、優先圏域（※）に順次整備を進めます。

※定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び（看護）小規模多機能型居宅介護が整備されていない圏域（市内6圏域）

- 「認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）」は、今後の認知症高齢者の伸び等を踏まえ、必要量を整備します。

具体的な整備量は資料6－2「第10期計画期間における介護サービスの整備目標量について」のとおりです。

(1) 地域密着型サービスの整備目標量について

① 小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護は、24時間365日の安心を提供し、地域包括ケアシステムの中核的な役割を担うサービスであることから、令和11年度で、全ての圏域に1か所以上整備されるよう、令和11年度までに16事業所を整備する。

(単位：事業所数)			
区 分	第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備量	7	3	16
廃止	△ 8	△ 1	-
整備累計	60	62	78

② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、24時間365日、訪問介護と看護を一体的に提供するサービスであるが、代替サービス（訪問介護、訪問看護、(看)小多機等）が充足しているため、第9期の方針（全圏域に2事業所程度の整備）を見直し、優先圏域（※）に整備する。
※定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び(看護)小規模多機能型居宅介護が整備されていない圏域（市内6圏域）

(単位：事業所数)			
区 分	第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備量	12	7	6
廃止	-	△ 1	-
整備累計	29	35	41

③ 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

待機者の状況と認知症高齢者数の伸びを踏まえ、令和11年度までに135人分を整備する。整備にあたっては、日常生活圏域内の整備状況などを考慮することとする。

(単位：人分)			
区 分	第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備量	181	144	135
廃止	△ 39	△ 117	-
整備累計	2,257	2,284	2,419

(2) 施設・居住系サービスの整備目標量について

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

入所申込者への調査（特養入所申込者実態調査）の結果を踏まえ、第10期での新規整備は行わない。

(単位：人分)

区 分	第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備量	98	177	-
廃止	-	-	-
整備累計	6,391	6,568	6,568

※地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の定員数を含む。

② 介護老人保健施設

介護老人保健施設は、令和7年12月1日時点の入所者及び待機者の調査において、施設の空床数が待機者数を上回っているため、第10期での新規整備は行わない。

(単位：人分)

区 分	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備累計	2,606	2,606

③ 介護医療院

介護医療院は、令和7年12月1日時点の入所者及び待機者の調査において、施設の空床数が待機者数を上回っているため、第10期での新規整備は行わない。

(単位：人分)

区 分	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備累計	710	710

④ 特定施設入居者生活介護（地域密着型特定施設入居者生活介護）

特定施設入居者生活介護は、令和7年12月1日時点の入所者及び待機者の調査において、施設の空床数が待機者数を上回っているため、第10期での新規整備は行わない。

(単位：人分)

区 分	第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8)	第10期 (R9～R11)
整備量	58	-	-
廃止	△ 41	△ 15	-
整備累計	4,299	4,284	4,284

※地域密着型特定施設入居者生活介護を含む。

第10期介護保険事業計画における特別養護老人ホームの整備数について（案）

1 特別養護老人ホーム入所申込者実態調査 概要

- ① 調査目的：福岡市内の特別養護老人ホームに入所申込みをされている方の現在の生活状況、入所申込みに関する考えなどを把握し、「特別養護老人ホーム」の整備計画等の策定のための基礎資料とすること
- ② 調査対象：福岡市内の特別養護老人ホームの入所申込みをしている人全て（^{しっかい}悉皆調査）
- ③ 調査方法及び期間：郵送による調査票配布・回収（令和8年1月23日～2月6日）

アンケート調査票 回収状況

項目		R7年度	R4年度	R1年度	H28年度	H25年度
①	入所申込者総数	2,512	3,392	4,076	3,563	7,080
②	複数箇所への申込者	▲ 509	▲ 866	▲ 1,227	▲ 1,052	▲ 2,704
③	死亡者等	▲ 202	▲ 256	▲ 242	▲ 317	▲ 329
④	調査対象者（＝①－②－③）	1,801	2,270	2,607	2,194	4,047
⑤	宛先不明返送数	▲ 44	▲ 83	▲ 69	▲ 5	▲ 75
⑥	未回収等（回答なし、調査協力「否」と回答、白票回答）	▲ 962	▲ 1,077	▲ 589	▲ 943	▲ 1,346
⑦	有効回収数（＝④－⑤－⑥）	795	1,110	1,949	1,246	2,626

2 早期入所が必要な人数の算出

アンケート調査の結果を分析し、
有効回収者から特別養護老人ホームへ早期入所が必要な人数を算出

（1）有効回収数からの算出

有効回収数	795 人
-------	-------

- ・入所への意向
- ・現在特養に入所していないもの
- ・在宅生活が困難であり早期入所を希望している
- ・常時介護が必要（要介護3以上）
- ・状況不明（無回答）



詳細は
(2) 参照

早期入所が必要な人数	200 人
------------	-------

(2) 調査対象者における早期入所が必要な人数の推計

有効回収数における早期入所が必要な人数の算出結果は以下のとおり。

① 特別養護老人ホームの入所意向

有効回収数 795		
入所したい 368	必要ない、既に特養に入所した、無回答 427	
	必要ない 126	既に特養に入所した 239
		無回答 62

② 高齢者施設等未入所者 ※入所済は特養、医療院、GH、有料・サ高住等

未入所 305	入所済 63
自宅 家族・親族 病院 老健 その他	特養 医療院 GH 有料等
141 21 46 82 15	13 3 17 30

③ 入所申込者の意向（在宅生活が困難により早期入所を希望）

早期入所を希望 155	左記以外 150
----------------	-------------

④ 常時の介護が必要（要介護3以上）

要介護3以上 138	左記以外 17
---------------	------------

⑤ 早期入所が必要

要介護3以上 138	無回答 62
---------------	-----------

200

算出した 200 人は有効回収数 795 人で推計しているため、入所申込継続の意思のある調査対象者 1,801 人で割り戻すことで、調査対象者における早期入所が必要な人数を以下のとおり推計する。

$$\text{◎ 実態調査の結果を基に絞り込んだ人数} \times \text{調査対象者数} \div \text{有効回収数} \\ 200 \text{ 人} \times 1,801 \text{ 人} \div 795 \text{ 人} = 453 \text{ 人}$$

3 特別養護老人ホームの必要整備量の算出

上記結果に基づき、特別養護老人ホームの必要整備量を算出

令和7年12月1日現在の 早期入所が必要な人数 453	×	令和4年度／令和8年度 の要介護3以上の伸び率 116.1%	=	令和11年度における特別 養護老人ホームの不足数 525
				+
令和7年12月1日現在の特別養護老人ホーム入所者数 (入所率92.9%)				6,023
				+
令和11年度における特別養護老人ホームの需要数				6,548
				-
令和8年度末における特別養護老人ホーム入所定員数				6,568
				=
第10期介護保険事業計画期間における整備数				-20

第10期介護保険事業計画における認知症高齢者グループホーム及び 特定施設入居者生活介護の整備数について（案）

◇ 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

R7.12.1現在 待機者数 306 人
 空床数 164 人分

（単位：人分）

区 分	R7	R8	R9	R10	R11
認知症高齢者数	42,803	44,053	45,340	46,664	48,027
待機者数	306	315	324	334	343

【第10期整備量】

- ① 必要定員数 180人分 人分
 = 待機者数 343人 - 空床数 164人分 = 179人 ÷ 20ユニット ※1ユニット9人分
- ② R8年度整備予定 108人分 人分
- ③ R8年度現在廃止予定 63人分 人分
- 3年間の必要整備定員数 ① - ② + ③ = 135人分

◇ 特定施設入居者生活介護（地域密着型特定施設入居者生活介護）

R7.12.1現在 待機者数 187 人
 空床数 627 人分

必要定員数

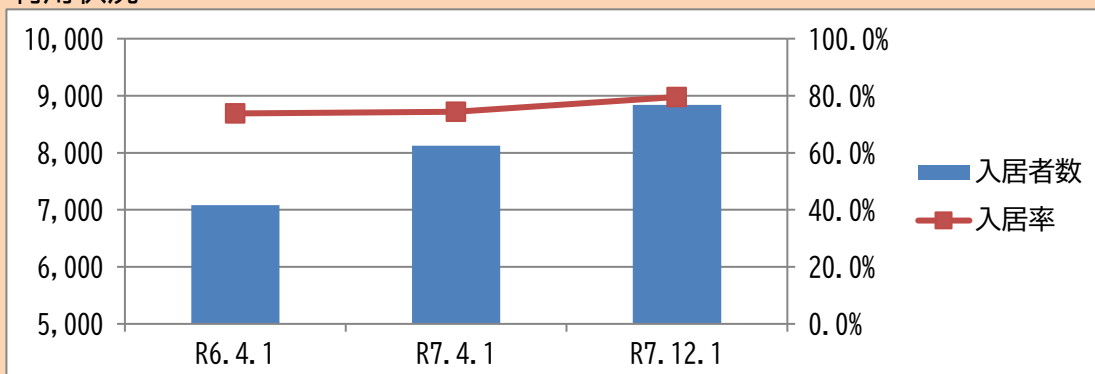
= 待機者数 187人 - 空床数 627人分 = -440人

空床数が待機者数を大幅に上回っているため、新規整備は行わない。

有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の利用状況

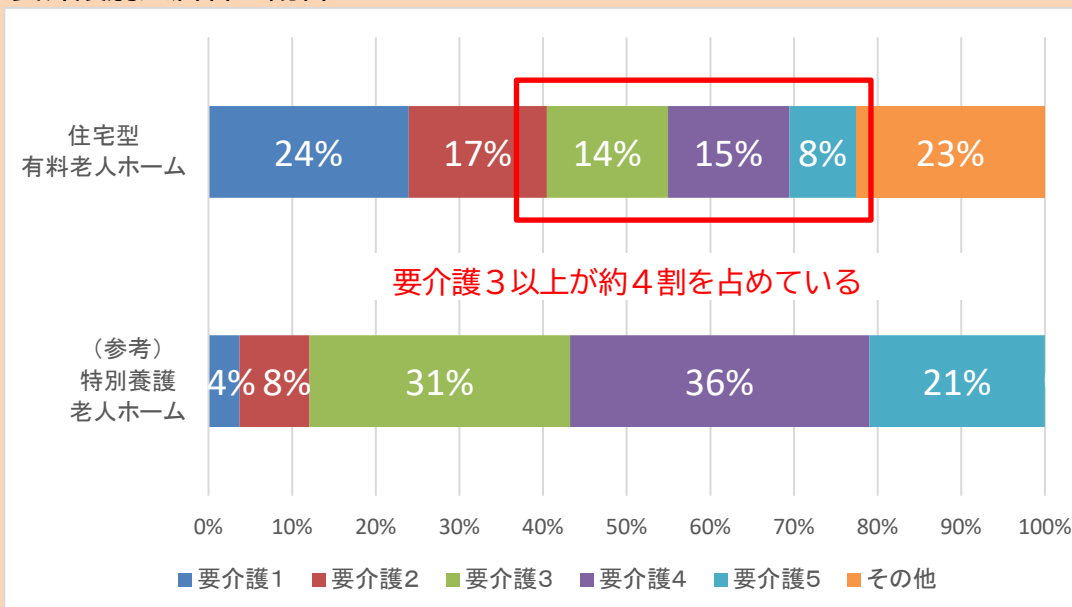
① 住宅型有料老人ホーム

利用状況



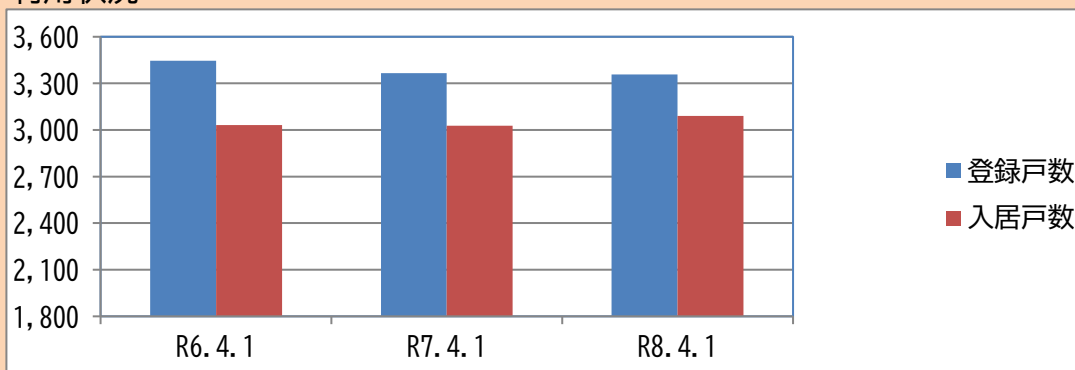
年	R6.4.1	R7.4.1	R7.12.1
定員	9,595	10,931	11,110
入居者数	7,080	8,125	8,840
入居率	73.8%	74.3%	79.6%

要介護別入居者の割合



② サービス付き高齢者向け住宅

利用状況



年	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1
登録戸数	3,445	3,366	3,357
入居戸数	3,031	3,028	3,090